

報道関係者各位

2026年7月2日

アットホーム株式会社

トレンド調査

＜シニア世代の住まい探し＞ 終活について考えている人は6割 住まい探しで苦労したことは 「希望に合う物件が見つからなかった」が最多

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区 代表取締役社長:鶴森 康史 以下、アットホーム)は過去2年以内に賃貸物件へ引越しを経験し、主体的に物件を探した65歳以上の男女を対象に、シニア世代の住まい探しに関する調査を実施しました。



トピックス

《ライフスタイル》

- 引越し理由は「家賃の安い場所に移る必要があるから」が最多
- 現在の住まいと家族が住んでいる場所の距離は「徒歩圏内」が2割

《住まいの探し方》

- 「不動産ポータルサイトで検索」「不動産会社に直接電話・訪問」が約3割
- 住まい探しで苦労したことは「希望に合う物件が見つからなかった」が最多

《不動産会社に求めること》

- 問い合わせた不動産会社を選んだ基準は「取り扱っている物件数が多い」がトップ
- 不動産会社との連絡は「店舗で直接会って相談したい」が半数以上

《終活・防犯対策について》

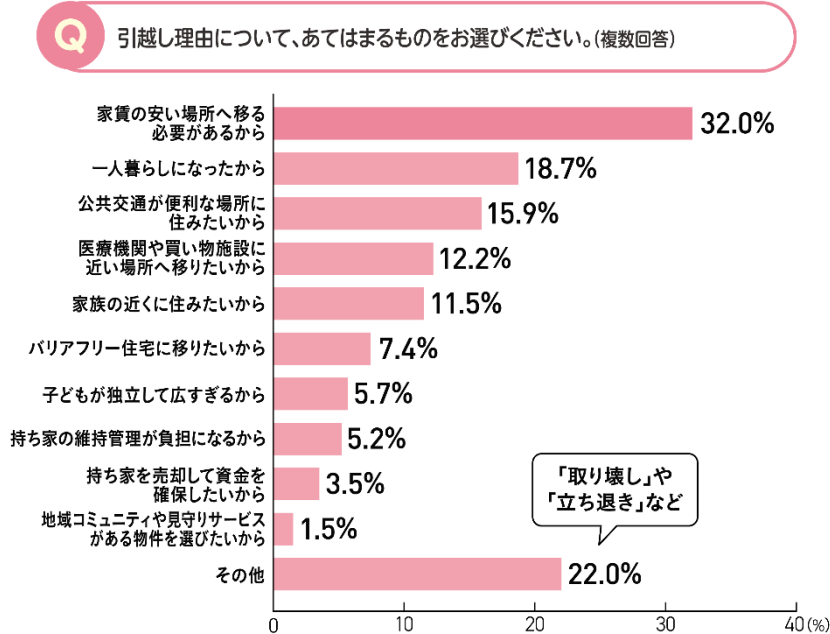
- 終活について考えている人は6割
- 防犯対策をして良かったことは、人感センサーをつけて常に灯りが付いていること

調査結果

《ライフスタイル》

■引越し理由は「家賃の安い場所へ移る必要があるから」が最多

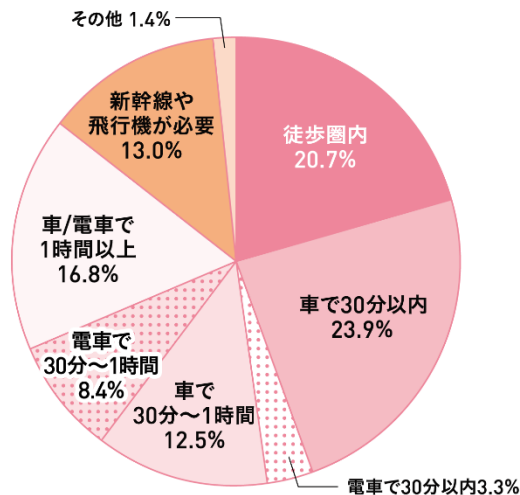
引越し理由について聞いたところ、「家賃の安い場所へ移る必要があるから」が最多の32.0%で、次いで「一人暮らしになったから」が18.7%でした。



■現在の住まいと家族が住んでいる場所の距離は「徒歩圏内」が2割

現在の住まいと家族が住んでいる場所の距離を聞いたところ、「徒歩圏内」が20.7%、「車で30分以内」が23.9%でした。家族との距離については比較的近距离に居住する傾向が見られ、日常的な行き来のしやすさを重視している様子がうかがえます。

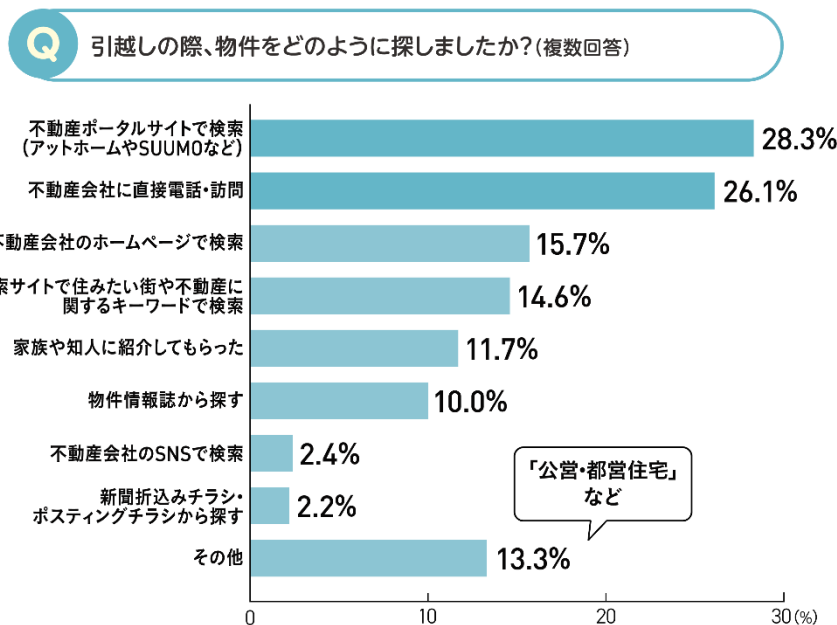
Q 現在の住まいと家族が住んでいる場所はどのくらいの距離ですか？
複数人いる場合は、一番近い人でお答えください。(家族を持つ368名)



《住まいの探し方》

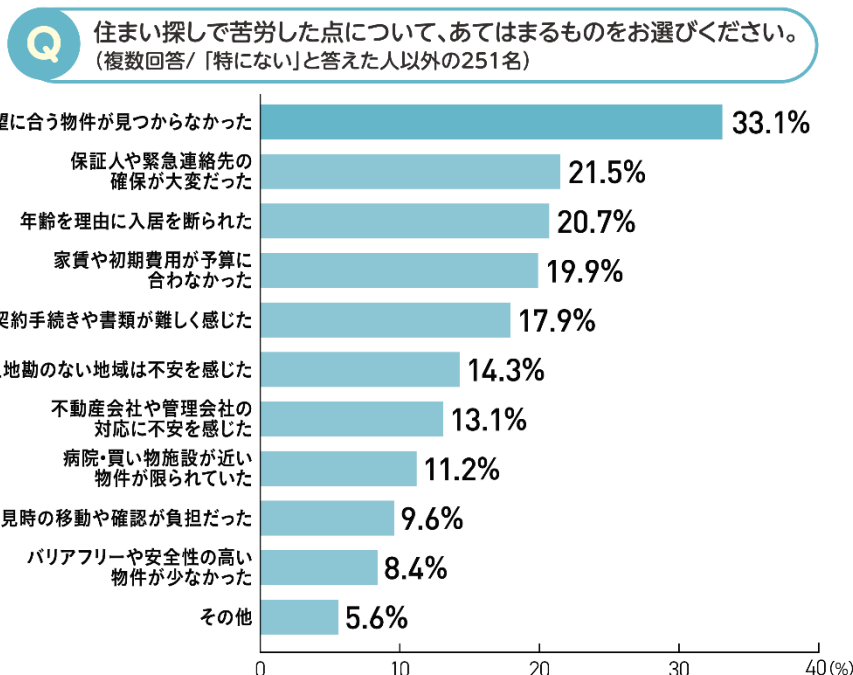
■「不動産ポータルサイトで検索」「不動産会社に直接電話・訪問」が約3割

住まいの探し方を聞いたところ、「不動産ポータルサイトで検索」がトップで28.3%、次いで「不動産会社に直接電話・訪問」26.1%でした。オンライン検索が広がる一方で、不動産会社に直接相談したい意向も同程度に見られ、高齢者にとって対面での相談は依然として重視されていることが分かりました。



■住まい探しで苦労したことは「希望に合う物件が見つからなかった」が最多

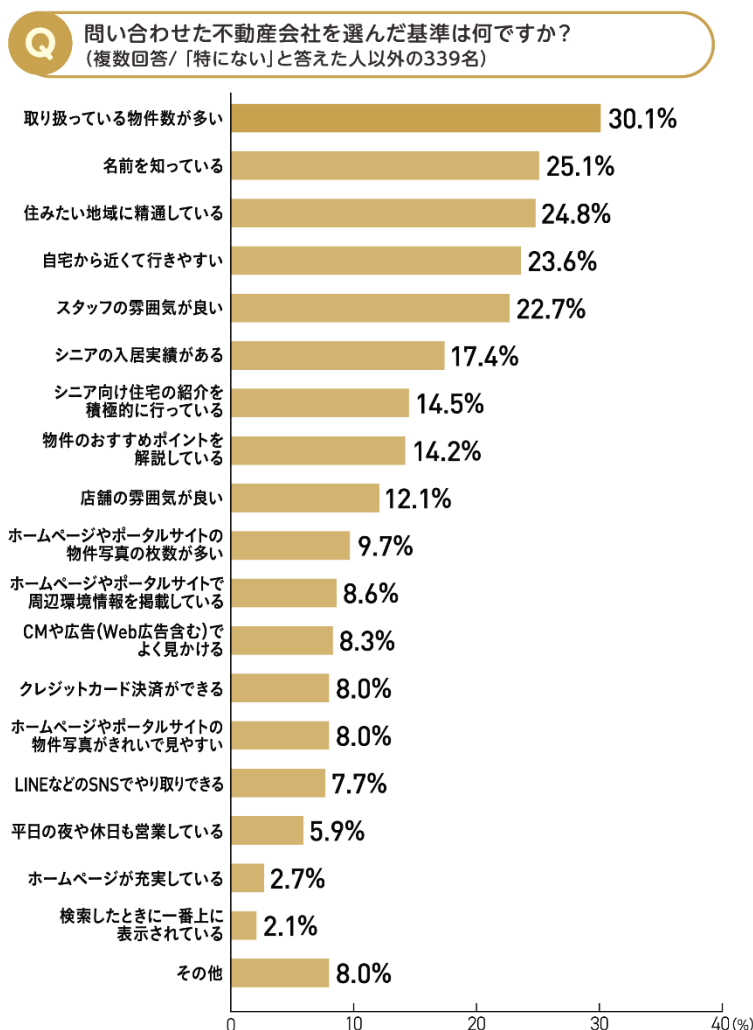
住まい探しで苦労したことを聞くと、「希望に合う物件が見つからなかった」が最多でした。次いで、「保証人や緊急連絡先の確保が大変だった」「年齢を理由に入居を断られた」が続き、物件そのものだけでなく、高齢者ならではの条件が住まい探しの負担となっている様子が見えます。



《不動産会社に求めること》

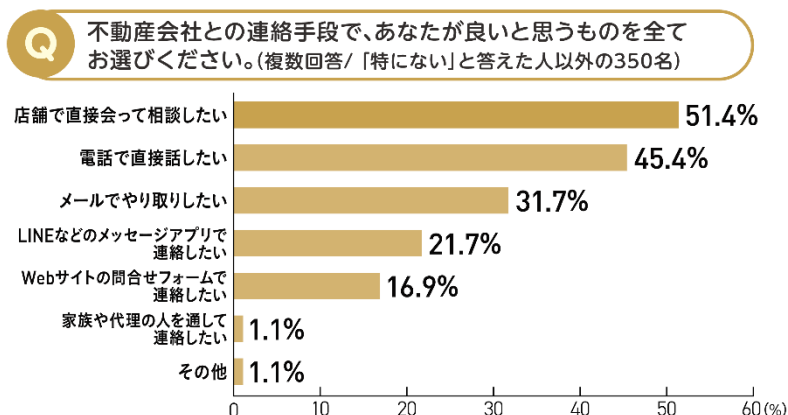
■問い合わせた不動産会社を選んだ基準は「取り扱っている物件数が多い」がトップ

問い合わせた不動産会社の選んだ基準を聞くと、「取り扱っている物件数が多い」が30.1%とトップでした。「シニアの入居実績がある」「シニア向け住宅の紹介を積極的に行っている」が15%前後と、シニアへの対応を得意とする不動産会社の需要も一定数あるようです。



■不動産会社との連絡は「店舗で直接会って相談したい」が半数以上

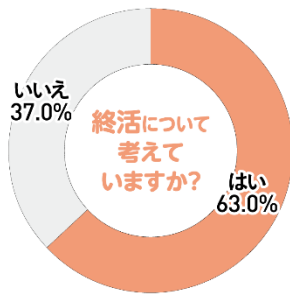
不動産会社との連絡手段で良いと思うものを聞いたところ、「店舗で直接会って相談したい」が半数以上を占めました。不動産会社とのやり取りにおいて、対面を重視する傾向が示される結果となりました。



《終活・防犯対策について》

■終活について考えている人は6割

終活について考えている人は、6割でした。終活をするようになったきっかけを聞いたところ、「遺産相続のトラブルを聞くので、それを避けるために対策しておきたいと思った」「定年退職した機会に、終活ノートをつけ始めて遺言を作成した」など、さまざまなエピソードが寄せられました。

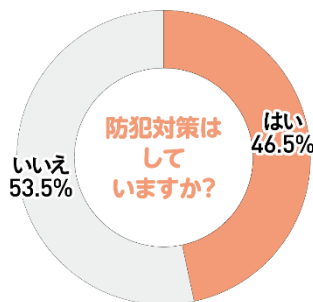


Q 実際に終活をするようになったきっかけのエピソードを教えてください。

- ネットで終活関連の団体を見つけ、加入した。
- 遺産相続のトラブルを聞くので、それを避けるために対策しておきたいと思った。
- 定年退職した機会に、終活ノートをつけ始めて遺言を作成した。
- 子どもたちに迷惑をかけないように元気なうちにコツコツやっておくことが一番だと思うので、慌てないように準備しておくのが大切だと思っている。

■防犯対策をして良かったことは、人感センサーをつけて常に灯りが付いていること

防犯対策をしている人は、約5割でした。防犯対策をしていて良かったと感じたことを聞いたところ、「車通りが多く、学生さんもよく歩く場所なので、人感センサーをつけて常に灯りが付いている」「不審な営業電話がかかってくるが、防犯電話機を導入したのが良かった」など、さまざまなエピソードが寄せられました。



Q 実際に防犯対策をしていて良かったと感じたエピソードを教えてください。

- インターホンが鳴っても、訪問の予定がなければ対応しないようにしているので、訪問販売を避けることができた。
- 車の通りが多く、学生さんもよく歩く場所なので、人感センサーをつけて常に灯りが付いている。
- 玄関前の防犯カメラ。外出時でも人を感知するとスマホに通知が来る。置き配を依頼することもあるので盗難防止になる。
- 不審な営業電話がかかってくるが、防犯電話機を導入したのが良かった。

調査概要

■調査対象／過去2年以内(2024年3月～2026年2月の間)に賃貸物件へ引越しを経験し、主体的に物件を探した65歳以上の男女460名

■調査方法／インターネットによるアンケート調査

■調査期間／2026年4月9日(木)～4月13日(月)

※小数第2位を四捨五入しているため、合計100%にならない場合があります。

＜調査結果について＞

アットホームでは本調査をはじめ、売買物件に住む人や一戸建て・マンションを購入した人などに住まいに関する調査を定期的に行っています。この他に「U30の住宅購入者実態調査」や「新社会人の一人暮らしにおすすめの条件・設備ランキング」など不動産業界のトレンドに合わせた調査も実施しています。過去の調査結果など詳細につきましては、ぜひお問合せください。

＜調査に関するお問合せ＞

アットホーム株式会社 広報・調査担当 佐々木・西嶋・白石

TEL:03-3580-7504 / E-mail: contact@athome.co.jp

会社概要

- 会社名 : アットホーム株式会社
- 創業 : 1967年12月
- 資本金 : 1億円
- 年商 : 353億4,000万円(2024年6月～2025年5月)
- 従業員数 : 1,870名(2026年5月末現在)
- 代表者名 : 代表取締役社長 鶴森 康史
- 本社所在地 : 東京都大田区西六郷 4-34-12
- 事業内容 : ●不動産会社間情報流通サービス
 - ・ATBB(不動産業務総合支援サイト)
 - ・ファクトシート・リスティング・サービス(図面配布サービス)
 - ・官公庁等の物件情報提供サービス●消費者向け不動産情報サービス
 - ・「不動産情報サイト アットホーム」
 - ・不動産情報アプリ「アットホーム」
 - ・「お部屋探しアプリ アットホームであった!」●不動産業務支援サービス
 - ・「ホームページ作成ツール」「Web 広告サービス」など、ホームページ運営支援
 - ・「不動産データプロ」「地盤情報レポート」など、不動産調査支援
 - ・「アットホーム会員ページ」「アットホームパノラマサービス」など、集客支援
 - ・「賃貸管理システム」「スマート申込」など、業務支援
 - ・「セミナー・研修会」など、知識習得支援
 - ・店舗・物件プロモーションツールなど、不動産業務用ツール
- 加盟・利用不動産店数 : 63,439店(2026年6月1日現在)
- 会社案内 : <https://www.athome.co.jp/corporate/>

【本件に関する報道関係者さまからのお問合せ先】
アットホーム株式会社 PR 事務局 担当: 倉地・長崎
TEL: 03-5413-2411 E-mail: athome@bil.jp

【リリース内容に関するお問合せ先】
アットホーム株式会社 マーケティングコミュニケーション部 広報担当: 佐々木・西嶋
TEL: 03-3580-7504 E-mail: contact@athome.co.jp